

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム



大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム

ヒートアイランド対策技術公開セミナーを開催しました

第1回

公開セミナー

▽日時 平成27年6月12日(金)15:10~16:40

▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所 研修室

ヒートアイランド対策を考えるにふさわしい蒸し暑い天気の中、ヒートアイランド対策技術公開セミナーを開催しました。夏本番前のこの時期に、皆様へ有用な情報をお伝えすることができました。



都市表面における日射吸収抑制策
木下 進一(大阪市立大学大学院 准教授)



持続可能社会に向けた大阪のグリーンインフラ
増田 昇(大阪府立大学大学院 教授)

“大阪府涼しい道(クールロード)100選”

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムでは、ヒートアイランド現象による都市部の不快な暑さを軽減し、快適に過ごせる屋外空間を増やしていきたいと考えています。平成24年度には多くの方にポケットパークやテラスから大規模公園まで様々な場所をご推薦いただき、府内で119か所のクールスポットを選定したところですが、今年度はスポット的な場所ではなくある程度の広がりをもって繋がる“涼しい道(クールロード)”に関する情報を募集し、府内で121か所を選定しました。選定した内容は(<http://www.coolspot-osaka.jp/>)に掲載していますので、お出かけの際は是非ご活用下さい

ホームページはこちら <http://www.coolspot-osaka.jp/>

大阪クールスポット

検索

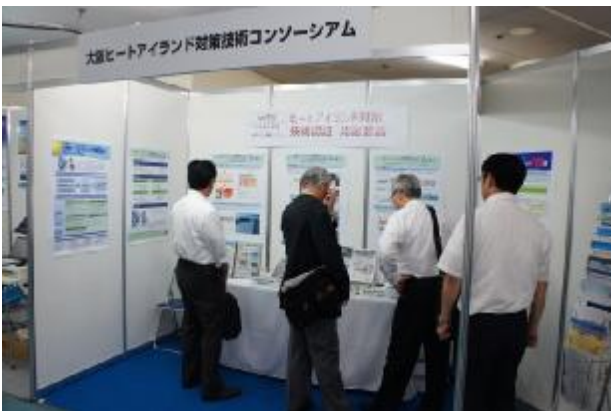


『夏の暑さ対策展2015』に出展しました！

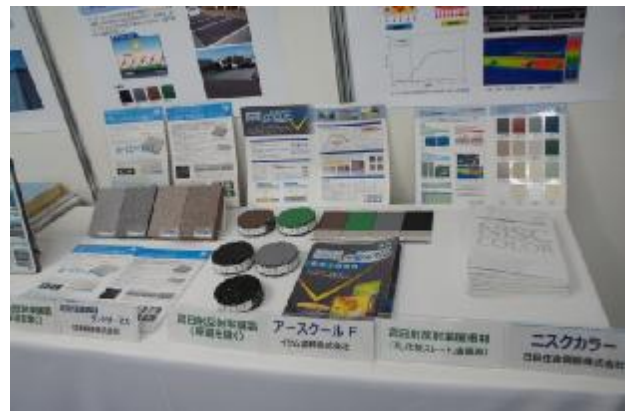
▽期間 平成27年6月17日(水)～19日(金)
▽科学技術館(東京北の丸公園)

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムは、平成27年6月17日から6月19日に科学技術館(東京)で開催されました『夏の暑さ対策展2015』(フジサンケイビジネスアイ主催)に出展し、コンソーシアムの概要説明・認証制度、認証製品の紹介を行い、パネル説明に加え、実際の認証商品のサンプルとカタログを設置し、ご説明させていただくことでより深くPRすることが出来ました。

ご来場者の皆様からは、大阪HITECの活動内容や認証制度について、また東京と大阪のヒートアイランド対策の違い、東京オリンピックに向けて高日射反射率舗装などについて関心を寄せていただきました。



展示ブース



認証商品サンプル

全認証商品の紹介パネルに加え、サンプル・カタログ展示を行いました。

《サンプル・パンフレット展示品》

高日射反射率舗装

- ◆遮熱性舗装材ランドサーマス (日本興業株式会社)
ライトグレー、ミディウムグレー、ライトブラウン、ミディウムブラウン
- ◆アースクールF グレー (イサム塗料株式会社)

高日射反射率屋根材

- ◆コロナル遮熱グラス (ケイミュー株式会社)
CC825、CC835 (G&W)
- ◆ニスクカラー RA019 Sグレー (日鉄住金鋼板株式会社)

その他、ブースに来られた方に当コンソーシアムを紹介するとともに、大阪府ヒートアイランド対策普及支援事業、おおさかヒートアイランド対策推進計画のパンフレットを配布しました。

理事会・総会を開催



昨年度活動報告・今年度の活動方針を検討

▽日時 平成27年6月12日(金) 13:30~15:00

「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム」(大阪HITEC)の理事会・総会(平成27年6月)を開催し、平成26年度事業報告・収支決算、平成27年度事業計画・収支予算案、理事の再任等について、承認がなされました。

今後のワーキンググループの事業計画

昨年度に引き続き、各部会ワーキンググループにおいて、それぞれのテーマについて検討を実施します。

素材関連ワーキンググループ

(反射、遮熱、断熱等に資する素材の研究、具体的活用の提案)

- ①保水性舗装 SWG において、保水性舗装の認証基準(案)を認証制度運営委員会に諮り、認証制度に反映していきます。
- ②外断熱 SWG において、外断熱仕様の認証基準(案)を認証制度運営委員会に諮り、認証制度に反映していきます。
- ③高反射材料の汚染促進試験方法 SWG において、アメリカで提案されている高反射材料の汚染促進試験方法の情報を参照し、汚染促進試験方法の基準化をしていきます。
- ④再帰性反射材料 SWG において、認証の対象の可能性のある材料・技術について情報を収集し、再帰性反射の定義、評価項目ならびに評価手法について検討します。そのなかで人体影響評価の必要性ならびに評価基準について併せて議論し、コンソーシアム全体への提案に向けて SWG としての考えをまとめます。
- ⑤新たな素材の認証制度への反映の可能性について、引き続き検討します。
- ⑥各素材の熱負荷削減に係る実証試験については、熱負荷評価手法WGと連携しながら、検討を進めていきます。
- ⑦今後とも、様々な機会を捉えて、情報提供していきます。

熱有効活用・人工排熱低減
ワーキンググループ

(潜熱化、排熱利用、省エネ・新エネ・代エネ技術(ESCO含む)による対策手法の調査、活用)

- ①人工排熱の大気熱負荷削減効果の推奨制度の確立
 - ・空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果および熱汚染対策効果の推奨方法
 - ・人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術を対象にした大気熱負荷削減効果の推奨方法
 - ・大気の直接冷却技術の調査
 - ・推奨制度の確立
- ②熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報

クールスポット創造技術手法
ワーキンググループ

(緑化、水活用(噴霧、散水)等技術手法の研究、具体的活用の提案)

- 本年度は緑化技術や水を活用した技術について検討し、効果検証を行うとともに評価シートの取りまとめなどを進めます。
- ①緑化技術に関する評価項目の検討
 - ②緑化技術に関する評価手法の検討
 - ③緑化技術に関する評価試験の検討
 - ④緑化技術に関する評価シートの作成
 - ⑤水を活用した技術に関する評価シートの検討
 - ⑥新たな提案の検討
 - ⑦情報交換の推進(随時)

熱負荷評価手法ワーキンググループ

(熱負荷削減評価手法の検討)

今後、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には関係 WG と連携して当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行います。

都市デザインワーキンググループ

(地域における「あるべき都市デザイン」の検討・提言)

- ①セミナー等の開催
- ②ワークショップで扱う検討課題
- ③平成 24 年夏に実施した「大阪府クールスポット 100 選」のホームページを継続します。
- ④府民が感じるクールラインの実態把握の検討

その他事業計画

- (1) 認証制度運営委員会の開催
認証制度申し込み技術に関する審査会を年 2 回程度開催します。また、検討中の認証技術等について各WGとの連携を図ります。
- (2) 企画運営委員会の開催
検討部会の進捗状況等について検討するため、年 2 回程度開催します。
- (3) 理事会の開催
総会の開催にあたって、総会の決議事項について検討を行い、上程します。
- (4) 平成 27 年度総会（平成 27 年 6 月）
以下の項目に関する決議。
 - ・平成 26 年度事業報告、同収支決算
 - ・平成 27 年度事業計画(案)、同収支予算(案)
- (5) セミナーの開催
ヒートアイランド対策技術に関する啓発セミナー等を 1～2 回開催します。
- (6) 部会活動等の周知
各部会で検討された内容等について、ニュースレターを発行します。
(年 1 回程度)
- (7) 展示会への出展
コンソーシアムの活動について、パネル展示などを通じたPRを図るため、「夏の暑さ対策展」(科学技術館 [東京・北の丸公園])に出展します。
- (8) ホームページの充実
コンソーシアムの活動成果等について、随時更新を行うとともに、ヒートアイランド対策技術認証制度において認証された技術等について公表します。
- (9) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布、普及啓発、検討部会への参画を促します。

会則の改訂

【会則の改正】

- 監事変更に伴う会則の改正を行いました。

大阪府の組織変更により、第 7 条の第 5 項を改正し、「大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長」から「大阪府環境農林水産部エネルギー政策課長」へ変更しました。

理事の選任

【理事の選任】

- 平成 27 年 3 月 31 日付で理事 桑原 千香氏が辞任したことに伴い、大阪ガス株式会社 CSR・環境部長 鷲尾 修司氏（新任期は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）が就任しました。
- 平成 27 年 6 月 24 日付で理事 井上 祐一氏が辞任したことに伴い、関西電力株式会社環境室長 河上 豊氏（新任期は、平成 27 年 6 月 25 日から平成 29 年 6 月 24 日まで）が就任しました。

～大阪府ヒートアイランド対策普及支援事業～



大阪府内の新築や改築、大規模修繕を実施しようとする事業所において、要件を満たす場合に優遇措置が受けられることがあります。

●対象となる府選定の対策技術

＜ヒートアイランド対策技術の内、日射による建築物表面及び敷地表面の高温化抑制をするもの＞

- ア 駐車場等アスファルトへの対策（保水性舗装、高反射率化等）
- イ 建築物(屋根、外壁等)の外断熱化
- ウ 敷地内の屋外緑化
- エ 建築物の屋根の高反射率化

※上記対策技術のうち、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムのヒートアイランド対策技術認証制度において認証された対策技術を使用することが望ましい。

●施工事業計画の認定基準

- ア 駐車場等アスファルトへの対策については、敷地内の概ね全てのアスファルトが施工対象であること。
- イ 建築物の外断熱化については、建築物の概ね一棟が施工対象であること。
- ウ 敷地内の屋外緑化については、事業所の全敷地面積の一割以上の面積を緑化するものであること。
- エ 建築物の屋根の高反射率化については、建築物の概ね一棟が施工対象であること。

●関係金融機関及び優遇措置

- ①株式会社商工組合中央金庫（商工中金）については、【借入利息の利率優遇 0.2%】

＜取扱支店：大阪、梅田、船場、堺、東大阪、箕面船場＞

- ②株式会社日本政策金融公庫【長期固定金利 最大 20 年間】

＜取扱支店：全国の支店＞

※関係金融機関と協議の上、毎年度の更新となります。

●大阪府への平成27年度の申込期間

平成27年4月1日(水)から平成28年2月29日(月)

【問い合わせ・申込先】

大阪府環境農林水産部 エネルギー政策課 温暖化対策グループ

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1丁目14番16号（大阪府咲洲庁舎22階）

TEL：06-6210-9553（直通） FAX：06-6210-9259

コンソーシアムの会員区分・年会費

- 法人会員（議決権1口につき5票）50,000円／1口
- 個人会員（議決権1口につき1票）
 - ・企業に勤務する個人 10,000円／1口
 - ・大学、試験研究機関、行政機関、公的機関に勤務する個人 5,000円／1口
 - ・学生 1,000円／1口
- オブザーバー（議決権なし）
 - ・行政機関

※年会費は、当該年度の4月末までにお納めいただくことといたしておりますが、年度途中の新規ご入会はその都度対応いたします。

また、年会費納付のご案内の際に、毎年、会員のご連絡先（担当者）について、確認をさせていただいておりますので、ご協力のほど、あわせてお願いいたします。

※大阪HITECは随時会員募集を行っています。

詳細な入会案内については、大阪HITECのホームページをご覧ください。

→ <http://www.osakahitec.com>

◆◆◆大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの構成メンバー◆◆◆

【法人】アーキヤマデ株式会社、株式会社いけうち、株式会社エスシーエイエヌ、大阪ガス株式会社、株式会社大林組、株式会社カネカ、関西電力株式会社、ケイミュー株式会社、住ベシト防水株式会社、太平洋プレコン工業株式会社、太陽セメント工業株式会社、ダイキンエアテクノ株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社大高商会、大日化成株式会社、大日本塗料株式会社、株式会社竹中工務店、デクセリアルズ株式会社、東洋紡STC株式会社、日鉄住金鋼板株式会社、一般社団法人日本塗料工業会、株式会社フッコー、株式会社ベルテック、ユニソングループ（株式会社ユニソン、株式会社ユニソン西日本）、株式会社LIXIL（25社）

【個人】水野稔、野邑奉弘、森山正和、池上俊郎 他（19名）

【大学】大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、関西大学、摂南大学

【行政等】大阪府、大阪市

（平成27年9月末現在）

発行／大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局

〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-62

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

TEL:06(6972)5810 FAX:06(6972)7665

URL:<http://www.osakahitec.com>